

アートマイルプロジェクト評価シート

■基本情報について教えてください。

学校名 [熊本市立桜山中学校] 担当教諭 [西尾隆一]			
児童生徒の学年・参加人数 (複数学年であれば学年別に): [2年29名]			
実施期間: 2007年 6月 ~ 2007年 2月			
交流: 無・○有 (国名[中国(台湾)] 学校名[建成國中] 学年[5年級] 担当教諭[陳淑霞])			
実施教科・時数 (関連させたものをすべて)	教科	単元名	時数
	選択美術	共同制作をしよう	15

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	辦桌 ※日本では円卓
絵に込めたメッセージ	画面には台湾で見られる祭りや宴会などでよく見える「辦桌」というイベントを描いています。「辦桌」というのは様々な所から来た見ず知らずの人達が、宴会や結婚式などの場所で円卓にかこまれて食事をしながら友達をつくる事からきています。そして円卓の周りには生徒たちが考えた日常生活の中の友情を示す物事を描き、にぎやかな気分を表しています。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
出会い	7月	平成18年12月、台湾政府教育部(日本の文部科学省にあたる ところ)から尚綱大学へ中学校美術に関する国際交流を持ちか けられた。尚綱大学美術担当が交流できる人材を探し、西尾隆 一教諭が引き受けることとなった。平成19年2月に台北市立 建成國民中學から先遣として陳淑霞先生が竜南中学校に來校 し、短い時間ではあるが生徒たちと文化交流を行った。その後、 私は桜山中学校に転勤し、引き続き交流をすることとなった。 テレビ会議 平成19年7月6日(金)にテレビ会議システ ムを使って、生徒たちの意見交流をした。当日は台北市立建成 國民中學で作成した壁画を公開し、あわせて台北市立建成國民 中學王美霞学校長も來校され、桜山中学校から台北市立建成國 民中學へ向けたお話しをしてもらった。	国を越えての活動 に、生徒たちはワ クワク・ドキドキ の連続だった。	選択1
情報 収集		<ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの校風をテレビ会議で伝え合った。 ・ 色紙の交換 	漢字で会話ができ ることに感動して いた。	選択2

テーマ 検討	1 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 班に分かれてテーマ検討 ・ テーマについて班ごとプレゼンテーション ・ テーマ決定 	日本の食べ物や文化をあらわすものを描こうということになった。	選択 2
制作	2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループごとに分かれて絵を描いた。 ・ 台湾からのリクエストとして、日本の特徴的な物を書いて欲しいとのことだったので、「すいか」（熊本は生産高日本一）や手巻き寿司、鯉のぼり、東京タワー、和服女性、富士山などを描いた。 	グループによって制作スピードが異なっていたため仕上げるのが難しかったようだ。	選択 9
鑑賞	3 月	完成した絵の鑑賞	2つの国の作品が1枚の画面に収まっている姿に感慨深げだった。	選択 1

■学習目標と成果はどうでしょうか？（順位は重視したものから順に1～5まで記入してください。順位のつかないものも記入してください）

（5：とても身についた 4：身についた 3：どちらともいえない 2：あまり身につかなかった 1：まったく関連がなかった）

順位	つきたい力・指導目標	先生の手応え	そう感じた場面・理由
4	コミュニケーション・スキル	5	グループ間の話し合いをまとめるのが難しい。
	情報活用能力（収集・発信）	3	結構慣れていた。
3	人間関係をつくる（交流相手・学級内）	5	IT機器のトラブル続出だった。
2	協同作業をする力（役割・段取り）	5	本校の生徒が最も苦手とすることであり、よい機会を得たと思っている。
1	異文化の理解	5	台湾の食べ物に興味を抱いていた。
5	自文化の理解・自分を見つめる	5	鯉のぼりや和服の女性を描いた。
7	表現力	3	写真を見ながら努力したが、うまくキー表現でできなかった。
6	学習を追究する意欲	4	1時間の枠内で行ったので、準備・片付けに手間取って制作する時間が少なくなった。

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成果	課題
・ 日本及び台湾の作品を鑑賞し、表現の相違と共通性	・ 大きな絵を描くにはいくつもの段取りが必要であ

<p>に気付き、それぞれのよさや美しさ、創造力の豊かさなどを味わい、それぞれの文化を尊重するとともに、美術を通じた国際理解を深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 台湾に興味を示し、国や民族を越えて相互に認め尊重しあう心を育成することができた。・ 共同制作を経験させることができた。	<p>り、綿密な計画が必要であった。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 2時間連続の授業時間を確保すること。
---	---

■その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

--